

仙台市社会福祉審議会老人福祉専門分科会 議事録

日 時：令和8年7月2日（木）16時30分

場 所：仙台市役所本庁舎8階 第1委員会室

【仙台市社会福祉審議会老人福祉専門分科会委員】

○出席者

安部 佳子委員・阿部 重樹委員・大西 憲三委員・小野寺 美千子委員・金子 和明委員・
宍戸 衡委員・福壽 岳雄委員・山口 強委員

(8名，五十音順)

○欠席者

猪又 隆広委員・加藤 伸司委員・河村 孝幸委員・平形 博司委員

(4名)

【事務局】

白岩保険高齢部長・小笠原高齢企画課長・内藤地域包括ケア推進課長・
伊藤地域包括ケア推進課認知症対策担当課長・雫石介護事業支援課長・渡部高齢企画課企画係長・
横尾高齢企画課在宅支援係長・峯岸地域包括ケア推進課地域包括支援係長・
松本地域包括ケア推進課介護・フレイル予防推進係長・水口介護事業支援課施設指導係長・

【会議内容】

1. 開会

2. 副会長の指名

副会長の指名について、阿部委員を指名 → 委員承諾

3. 議事（福壽会長による進行）

会議公開の確認 → 異議なし（傍聴者なし）

議事録署名委員について、宍戸委員・山口委員に依頼 → 委員承諾

(1) 仙台市老人福祉施設に関する市民アンケートについて

介護保険課長から説明（資料1、資料2、資料3）

<質問事項>

○阿部委員

アンケートの問11と問14の関係だが、設問の誘導を工夫して欲しい。今の誘導だと、問11でわからないと選択した場合のみ、問14に誘導しているように見えてしまう。

○高齢企画課長

問14は回答者全員が対象ということが分かるように設問の誘導を修正したい。

○金子委員

問3の選択肢3について、「利用する予定はない」ではなく、「利用していない」とした方が良いのではないか。現在利用している人は「1. 現在利用している」と回答し、60歳未満で今後利用したい人は「2. 今後利用したい（対象年齢になったら利用したい）」と回答し、それ以外の人は「3. 利用する予定はない（対象年齢になっても利用しない）」か「4. わからない」と回答をする。そうすると現在、対象年齢で施設を利用していない人は、「利用する予定はない」と回答するのか。

次の問4、問5は、当てはまる番号すべてに丸をしてくださいとしているが、問6、問7、問9は回答を2つまでに限定している。回答を2つまでに限定する理由をお聞かせいただきたい。

問5の設問について、「あなたが老人福祉センターを利用しない理由について」となっているが、「あなたが老人福祉センターを利用していない理由」ではないか。

問4と問5の次に「問6へ」と設問の誘導が必要ではないか。問6と問7は全員に回答して貰った方が良いので、誘導を明確にした方が良い。

○高齢企画課長

問3の選択肢3の「利用する予定はない（対象年齢になっても利用しない）」について、現在利用していない人と、今後利用する予定はない人の選択肢として考えていた。選択肢の表現をどうするか検討させていただきたい。

問5について、「利用しない理由」ではなく、「利用していない理由」ではないかと指摘があったが、どのような表現が良いか検討させていただきたい。

問6、問7は、皆様に回答いただきたい部分なので、問6に誘導するように改めたい。

問6、問7、問9は2つまで回答可としているのは、重要度の高いものに絞って回答して頂きたいことが理由である。当てはまるもの全てを回答可能とすると、重要度の高さが不明確となってしまうため、問6、問7、問9は2つまでとしている。

○福壽会長

該当の設問に関して、回答を2つまでにしているのは重要度の高さを明確にするためと説明があったが、これについて他に意見はあるか。

○金子委員

設問の表現について、2つまで回答可という表現ではなく、2つお答えくださいと表現するなど、分かりやすくした方がよい。重要度の高いものを選んで貰いたいという意図は理解した。

○高齢企画課長

2つまで回答可と表現している理由は、2つ選ぶ方と1つだけ選ぶ方がいることを想定しているためである。どのような設問の表現が良いのか検討したい。

○山口委員

資料3に「老人福祉センターとは」と説明が記載されているが、60歳以上が対象となっている。高齢者の認識は60歳以上なのか。

○高齢企画課長

一般的に高齢者は65歳以上であるが、老人福祉センターができた昭和40年代当時の国からの通知等に基づいて老人福祉センターは60歳以上から利用できるという扱いにしている。一般的な高齢者の定義とは異なる。

○山口委員

定義を変える予定はないのか。

○高齢企画課長

今後の議論によって検討する。

○山口委員

60歳未満の2,000人を対象にアンケートを取ると説明があるが、60歳未満の方は老人福祉センターとは何なのか分からず、アンケートが届いても、回答しづらいのではないかと。このアンケートの目的は、老人福祉センターを今後どうしていくか検討するための資料にすることであるなら、現在利用している人や、利用者の年齢層に近い人たちだけを対象にした方が良いのではないかと。

○高齢企画課長

20歳以上の方を対象にしているのは、将来的に自身が高齢者になったときに利用するかという視点や、現役世代で税負担をしている中で、このような施設をどう感じるかという視点で、ご意見を伺いたいと考えているためである。

○小野寺委員

60歳未満の方にアンケートを取るということは、該当の施設に税金が使われていることを分かってもらうという意味で、意義があるのではないかと感じる。

○高齢企画課長

20歳以上の方を対象にしている趣旨としては、委員ご指摘のとおり、税負担しているということも含めて、該当の施設をどうしていくかという方向性をお聞きする意味で意義があると思っている。

○宍戸委員

税の負担や高齢化という部分で、若い世代からも意見を伺うという考えについて、良いと思っている。一方で、資料2で「施設の老朽化も進んでおり、こうした環境の変化や利用状況に応じて、適切にあり方について検討を進めていきたい」とあるが、老朽化や施設の維持管理に関するアンケートの項目がない。施設の老朽化や建物の維持管理に関してどのように思うかという部分について、各世代からの意見を聴取することはしないのか。または、これは1回目のアンケート調査であり、2回目のアンケート等で老朽化や施設の維持管理の費用など、そのような意見を聞く機会があるのか。機会が無いのであれば、老朽化が進んでいるが、それについて市民から意見を聞かないという話になる。

○高齢企画課長

まず、アンケートについては、今回の1回と想定している。

維持管理や老朽化の話であるが、資料3の2ページ目に築年数がどれくらいなのか、3ページ目に運営に要する費用などを示しつつ、それを踏まえて設問に回答していただくことを考えている。直接に維持管理や老朽化について問う設問はないが、現状がどのような状態であるのかを資料3で確認頂き、ご回答いただきたいと考えている。

○宍戸委員

資料3について、どの程度の人が実際に目を通してくれるのかという点には懸念がある。自由に意見を回答できる問14に「資料3をよくご覧頂き意見を書いてください」と案内するのが良いと思う。

○高齢企画課長

設問14について、資料3を読んでいただい上で回答頂けるように工夫をしていきたい。

○大西委員

私はこの老人福祉施設を利用できるぐらいの年齢であるが、1回も利用していない1番大きな理由は、近くに施設がないということである。老人福祉センターだけではなく、一般的な市の施設である市民センターや図書館などは、近くの人と比較的利用するが、遠くの人に行きたいけれども、遠い、行けないという理由で利用しない。設問5の選択肢に、近くに施設があれば行くという意味合いが表現できるようにして欲しい。

○高齢企画課長

そのような視点で答えられるような選択肢を設けるように工夫をしていく。

○阿部委員

表紙のアンケート調査の囲みのところに、回答の所要時間などを記載したほうが回答しやすくなる。また「回答いただいた内容については、匿名で統計的に処理されますので、個人が特定されることは一切ありません」と書いたほうが、回答しやすくなるのではないか。

○高齢企画課長

重要な視点だと思うので、アンケートに盛り込むよう調整したい。

○安部委員

大西委員の意見に近いのだが、自分の家の近くに施設があったり、家族が使っている場合は施設を知ることができるが、そのような関わりがないと施設を知らないと思う。施設のことを知らなければ、税金が使われているのは嫌だと思うが、自分の家族が使っていれば、違う考えになるのではないか。問2などについて、施設を知っている方に理由を伺えるようにして欲しい。

○高齢企画課長

どのような形でできるのか、検討させていただきたい。

○福壽会長

このような施設が今後必要なのか調査する際、アンケートを通して若い人にも施設のことを知ってい

ただ方法が良いと思う。一方で、今施設を利用している人は、当然必要と思うのではないか。60歳以上の方は、3,000人を対象にアンケートを行うとのことだが、その中に施設を利用している人はどれくらい当たるのか。施設の延べ利用者数は資料にあるが、延べ利用者ではなく実利用者として何人いるのかを考えると、このアンケートは利用者には届かないのではないか。市民目線のアンケートを行うのと同時に、利用者からの意見を吸い上げることはできないのか。

○高齢企画課長

老人福祉センターについては、実利用者数でいうと約3,000人である。

○福壽会長

仙台市の60歳以上の人口はどれくらいなのか。

○高齢企画課長

約33～34万人である。

○福壽会長

そのうち3,000人にアンケートを依頼しても、利用者に当たらない可能性がある。

○高齢企画課長

施設利用者にアンケートが当たらない可能性はある。利用者の方々の意見は、別途施設の利用者向けアンケートを行っている。施設の利用者は施設が必要だという意見になると思うが、どのようにアンケートを取るのか、考えないといけない。ただ今回議論頂いているアンケートは、あくまで市民の方々の意見を調査することが目的である。市民の方が全体としてどのように考えるのか、無作為抽出して調査することにより分かるので、利用者限定せずに幅広くアンケートを取っていきたいと考えている。

○福壽会長

今回のアンケートについては、市民全体の意見何うということで理解した。

4. 閉会